

ゼミ活動報告 「大阪インテレチュアルバー」

中尾亮太

7月13日大阪インテレチュアルバーに参加しました。
インテレチュアルバーは梅田火曜会を前身としています。お酒、食事を交え気軽にコミュニケーションをとり知的理解を深めていくというものです。今回の参加者は自分たち学生も含め47人でした。

まず、私たち学生は受付のお手伝いをしました。その時、社会人の名刺交換を初めてみました。学生にはない文化なので新鮮でした！すっかり自分も名刺をいただきました。

続いて、先生のプレゼンテーション。科学的思考論の時に学んだ因果関係をきちんと見抜くというお話でした。参加者の皆さんがうなずきながら聞いている様子に、科学的な思考は社会に出ても必ず必要になる知識であることを改めて実感しました。学生として、そのような空気を肌で感じられ、参加できて本当によかったなとこの時すでに感じていました。



先生のプレゼンテーションが終わると、各テーブルで自由に話す時間になりました。この時の話題は様々でした。私のテーブルでは有給の取り方や働き方改革によって職場がどのように変わったかというお話で盛り上がりました。この話題で縛られていない様子がこの会の良さを体現しています。

会はどんどん進み、今度は新明和工業の伊藤さんのプレゼンテーションの時間でした。IR担当者の独り言と銘打っておられ、ユーモアあふれるとても軽妙な語り口でしたが、しかし示唆に富んだお話でした。未来を語るIRでありたいというお言葉が心に残っています。直にIR担当者から社会人と同じ目線で、社会人向けのお話を聞ける機会に僕は興奮が抑えきれませんでした。（このあたりから、同じテーブルの方々とペースを合わせて飲んでいたので、なかなか酔っぱらっていたということもテンションの高まりの一因ですが…笑）



私は隣の席の森園さんと一対一でお話しさせていただきました。森園さんとお話で得た経験は自分にとってとても大切なものなので、イベント報告でみんなに伝えることはしません。（笑）もったいない！あれは自分だけの宝物です。気になる六期生はぜひ自分でお話を伺ってください。どんな質問にも真摯に答えていただきました。

はじめは、勝手に自分が委縮してはじめはうまく話せませんでした。温かく対応していただけてどんどん質問し、ぐいぐいお話に参加できました。大学教授である宮川先生が主催されたからこそ、企業、部署を超えたフランクで知的な空間ができたのだと思います。社会人になっても学ぶことに純粋な方々と接することができたことは自分の価値観を大きく変える経験になりました。

あー！！参加できて本当によかった。何度でも行きたい。ほかの6期生に譲りたくない！というのが自分の素直な感想です。それほどに楽しかったし、得るものが大きかった。宮

川ゼミ生でよかった！！